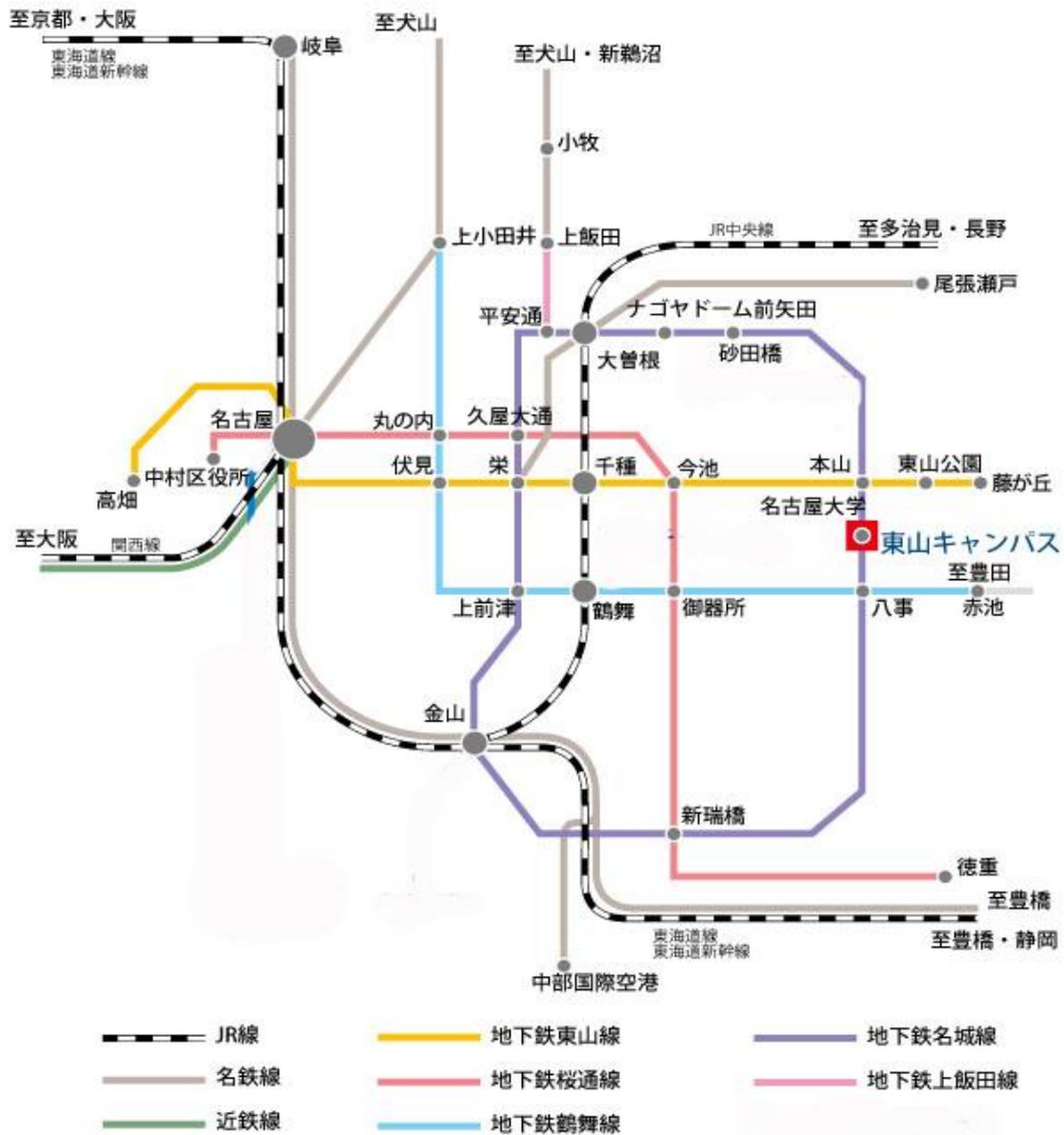


大会情報・プログラム

大会会場

名古屋大学 東山キャンパス (〒464-8601 名古屋市千種区不老町)



交通手段

東山キャンパス 地下鉄名城線名古屋大学駅 下車
JR・名鉄・近鉄名古屋駅より

— 徒歩 → **地下鉄名古屋駅** — 名鉄東山線 → **本山駅** — 地下鉄名城線 → **名古屋大学駅**

大会連絡先：名古屋大学経済学部 長尾研究室

Tel : 052-789-2380

Email : nagao2011@gmail.com

名古屋大学 東山キャンパスマップ



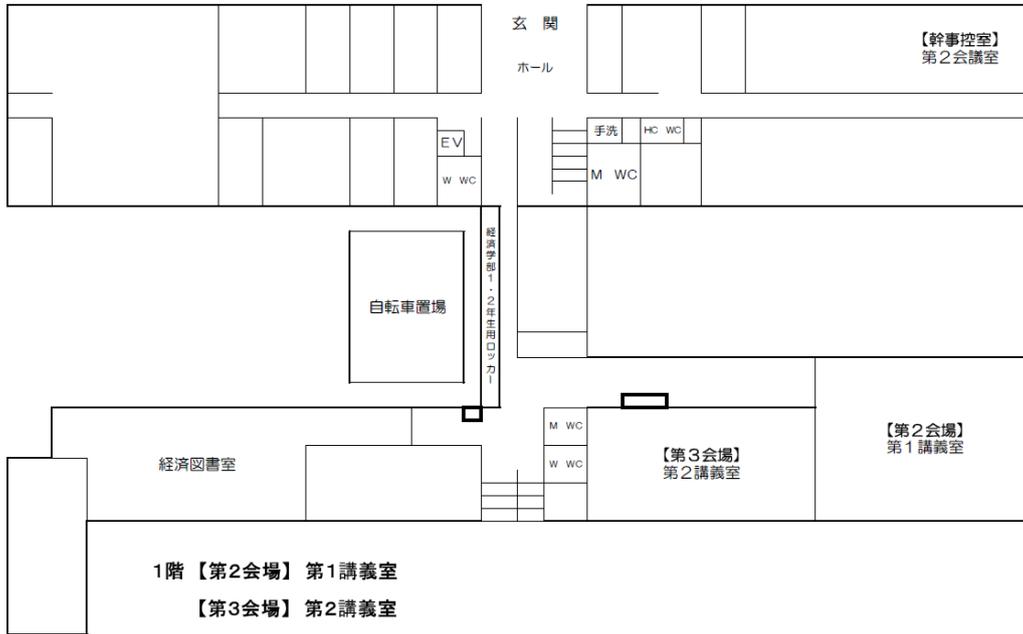
大会会場：経済学部棟 1・2・4階

懇親会：南部食堂

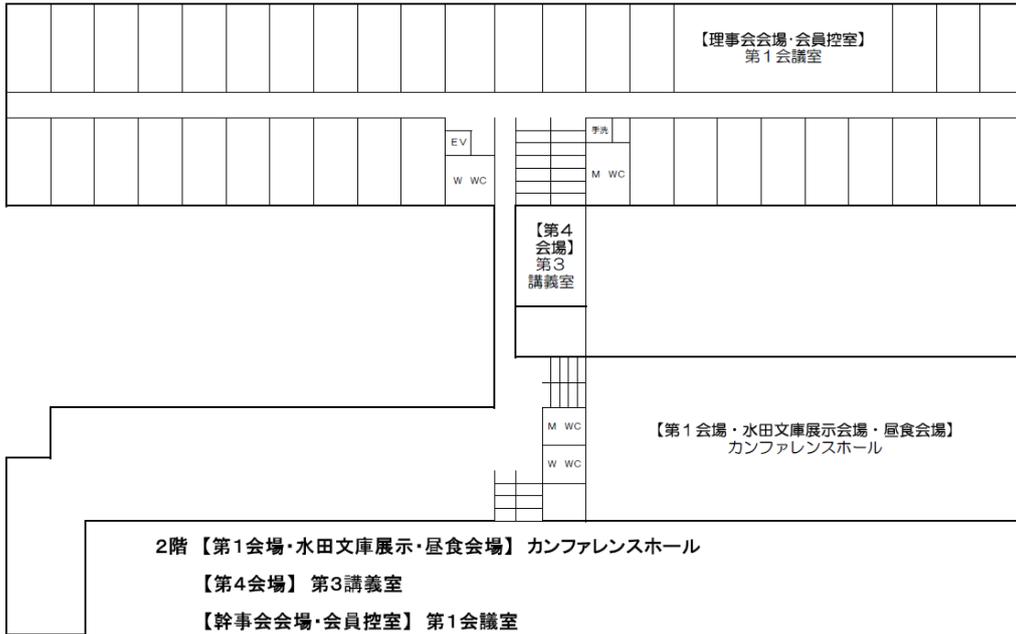
幹事会会場：経済学部棟 2階

経済学部棟

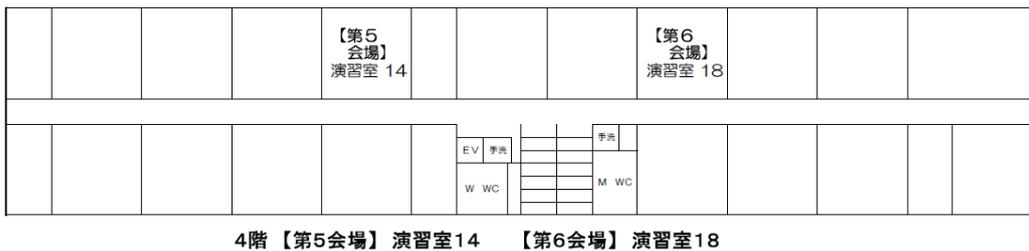
1 階



2 階



4 階



教室利用表

教室	【第1会場】 カンファレンス ホール	【第2会場】 第1講義室	【第3会場】 第2講義室	【第4会場】 第3講義室	【第5会場】 演習室14	【第6会場】 演習室18
29日						
09:00-11:00 [セッション]	A 自然法・共和 主義・啓蒙	B 自由主義 思想の射程	C シティズンシップ の変容を再考する			
11:10-11:55 [自由論題]	大塚雄太 (田中)	近藤和貴 (石崎)	田畑真一 (別所)	大野光明 (森)	大賀祐樹 (井上)	
13:00-15:00 [セッション]	D ヒュームとスミス	E マルクス主義 の展開	F 政治哲学の現在			
15:10-17:50	シンポジウム 都市と災厄の思想					
17:50-18:50	総会					
30日						
09:00-09:45 [自由論題]	竹川慎吾 (植村)	種田佳紀 (堀田)	鈴木平 (崎山)	上野大樹 (鳴子)	奥村大介 (辰巳)	斎藤尚 (中山)
10:00-10:45 [自由論題]	水田洋 (山田)	佐々木隆治 (的場)	見附陽介 (上野)	秋元由裕 (初見)	寺田晋 (岩崎)	
11:00-11:45 [自由論題]	福田名津子 (篠原)	黒川伊織 (太田)	松波京子 (小笠原)	速見淑子 (三島)	今村純子 (田崎)	田口雄一郎 (光永)
13:00-15:00 [セッション]	G 戦後日本における 社会思想史研究	H 「人間」概念の変 容と生命倫理	I 「パイレーツ・ モダニティ」—海賊 の思想史に向けて	J パトリオティズ ム・ナショナリズ ム・コスモポリタニ ズムの根本問題		
15:15-17:15 [セッション]	K 各国、各時代 比較による近代社 会思想史記述の試 み	L マルクスを 再考する	M 18・9 世紀ドイツ の社会経済思想			

10月28日(金) 17:00— 幹事会 (経済学部棟 2階 第1会議室)
 10月29日(土) 19:00— 懇親会 (生協南部食堂)
 10月29・30日(土・日) 終日 水田文庫特別展示
 (経済学部棟 2階 カンファレンスホール [第1会場])

2011年10月29日 (名古屋大学)

2011年度 社会思想史学会総会

1. 議長選出

2. 報告事項

- (1) 会員の異動について
- (2) 会費納入状況について
- (3) 第36回および第37回大会について
- (4) 本年度および次年度以降の『社会思想史研究』について
- (5) その他

3. 審議事項

- (1) 2010年度決算および会計監査報告
- (2) 2011年度予算
- (3) HPサービスの移行について
- (4) その他

4. 学会研究奨励賞の公表および表彰

水田文庫特別展示について

日本の社会思想史研究の歴史を検討する幹事会企画セッション「戦後日本における社会思想史研究」に対応して、大会期間中、昨年度に名古屋大学附属図書館に収蔵された水田文庫、および水田会員の個人蔵書の一部を展示します。

水田文庫は水田洋会員が研究資料として収集した、初期近代から現代におよぶ社会思想史の個人コレクションです。現在名古屋大学中央図書館には、そのうち 19 世紀以前の貴重図書の大部分が納められていますが、収蔵はまだコレクションのすべてにおよんではいません。今回大会のために特別に展示されるのは、18 世紀のいくつかの貴重図書とならんで、おもに水田会員が近代思想史の射程の中でとらえ、研究のために収集された、20 世紀思想史の以下のようなテーマに関する文献類です。展示点数は、それぞれ 20 冊程度を予定しています。

展示テーマ

- 1) レフト・ブック・クラブ
- 2) フランス・スペイン人民戦線
- 3) フランクフルト学派とナチス時代の知識人救援運動

展示場所、期間

展示場所は報告会場であるカンファレンス・ホールの一部を利用して、大会会期中を通じて展示を行います。

これらは 20 世紀の社会思想史研究上で興味深い資料ですが、幹事会企画セッションのテーマである、戦後日本における初期近代、近代西洋思想史研究の背景という点でも重要な意味があります。この展示資料を多くの会員の方々に閲覧していただき、セッションで戦後西洋社会思想史研究の歩みを振り返るとともに、その出発点のひとつとして、20 世紀中葉西欧の思想動向をとらえて、いっそう議論を深めていただければと思います。

なお展示品一覧と展示テーマの概説については、後ほど学会ホームページおよび学会メーリングリストを通じてお知らせいたします。

(大会校 長尾伸一)

10月28日(金) 17:00~19:00 幹事会 経済学部棟2階 第1会議室

10月29日(土) 9:00~ 経済学部棟

1F【第2会場】第1講義室 【第3会場】第2講義室
2F【第1会場・水田文庫展示会場】カンファレンスホール 【第4会場】第3講義室
4F【第5会場】演習室14 【第6会場】演習室18

-----9:00~11:00 セッション-----

A 自然法、共和主義、啓蒙 【第1会場】

世話人・報告者:田中秀夫(京都大学経済学研究科)
討論者:佐々木武(東京医科歯科大学名誉教授)

B 自由主義思想の射程 【第2会場】

世話人:森岡邦泰(大阪商業大学)
司会:太子堂正称(東洋大学)
報告者:野原慎司(京都大学経済学研究科非常勤講師)、森岡邦泰
討論者:林直樹(京都大学経済学研究科非常勤講師)

C シティズンシップの変容を再考する——アジアとヨーロッパの視点から 【第3会場】

世話人(司会・討論者兼務):井上弘貴(神戸大学)
報告者:高原幸子(中京大学)、平石耕(成蹊大学)
討論者:加藤敦典(京都大学、非会員)

-----11:10~11:55 自由論題報告-----

ガルヴェとファーガスン:18世紀ドイツにおける解釈と深化の一形態 【第1会場】

報告者:大塚雄太(名古屋大学高等研究院)
司会:田中秀夫(京都大学)

名声と徳——クセノフォン『弁明』におけるソクラテスの目的について 【第2会場】

報告者:近藤和貴(早稲田大学政治学研究科)
司会:石崎嘉彦(摂南大学)

J・ハーバーマスにおける憲法パトリオティズム論の変遷 【第3会場】

——ドイツ統一を巡る論争の影響を中心に
報告者:田畑真一(早稲田大学大学院政治学研究科)
司会:別所良美(名古屋市立大学)

沖縄の日本復帰を批判する運動・思想の越境性——竹中労の思想と実践を事例に 【第4会場】

報告者:大野光明(立命館大学先端総合学術研究科)
司会:森宣雄(聖トマス大学)

ローティの物語的な自己 【第5会場】

報告者：大賀祐樹（早稲田大学社会科学総合学術院助教）
司会：井上弘貴(神戸大学)

-----13：00～15：00 セッション-----

D ヒュームとスミス（スコットランド啓蒙思想研究） **【第1会場】**
世話人：篠原久（関西学院大学）
報告者：梅田百合香（桃山学院大学）、長尾伸一（名古屋大学）、有江大介（横浜国立大学）

E マルクス主義の展開 **【第2会場】**
世話人：太田仁樹（岡山大学）
報告者：小野寺研太（東京大学大学院）
リプライ：植村邦彦（関西大学）

F 政治哲学の現在 **【第3会場】**
世話人：小田川大典（岡山大学）
司会：小田川大典
報告：松元雅和（島根大学）、加藤哲理（京都大学）
討論：小田川大典

-----15：10～17：50 シンポジウム 2階 カンファレンスルーム-----

都市と災厄の思想

報告：若林幹夫（早稲田大学）
「災厄が可視化するもの——「都市という災厄」と「都市の思想」の現在」
前川真行（大阪府立大学生涯教育センター）
「洪水のあと。Après le déluge — 3.11 後における「社会的なもの」の想像力」
討論：岡崎乾二郎（近畿大学）
司会：長尾伸一（名古屋大学）

17：50～18：50 総会 カンファレンスルーム

19：00～ 懇親会 生協南部食堂

10月30日（日） 9：00～ 経済学部棟

-----9：00～9：45 自由論題報告-----

高島善哉の経済社会学の成立——三木清への思想的接近をふまえて **【第1会場】**
報告者：竹川慎吾（立命館大学先端総合学術研究科一貫制博士課程）
司会：植村邦彦(関西大学)

ポーコックにおける政治の観念と政治言説——方法論争を越えて **【第2会場】**
報告者：種田佳紀（京都精華大学・助手）

司会：堀田誠三（福山市立女子短期大学）

福音主義と科学・自然神学・自助の精神 【第3会場】

——デイヴィッド・リヴィングストンのアフリカ開発構想とその知的文脈

報告者：鈴木平（慶應義塾 志木高等学校）

司会：崎山政毅（立命館大学）

現代政治哲学における二つのルソー像とシヴィック・ヒューマニスト説の虚実 【第4会場】

報告者：上野大樹（京都大学人間・環境学研究所博士課程、日本学術振興会）

司会：鳴子博子（岐阜聖徳学園大学）

ヴィルヘルム・ライヒの生体エネルギー論 【第5会場】

報告者：奥村大介（慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程、日本学術振興会特別研究員）

司会：辰巳伸知（佛教大学）

リベラル・デモクラシーの存続可能性についての考察——アローの定理の検討をつうじて 【第6会場】

報告者：斉藤尚（早稲田大学政治学研究科）

司会：中山智香子（東京外国語大学）

-----10：00～10：45 自由論題報告-----

ホップズの再検討 【第1会場】

報告者：水田洋（日本学士院）

司会：山田園子（広島大学）

マルクスにおける物象の人格化と所有 【第2会場】

報告者：佐々木隆治（一橋大学社会学研究科特別研究員）

司会：的場昭弘（神奈川大学）

公共圏と身体——公共性のアーキテクチャをめぐる 【第3会場】

報告者：見附陽介（北海道大学・専門研究員）

司会：上野成利（神戸大学）

初期ルカーチ「美学の現象学」における存在と意味 【第4会場】

——「ハイデルベルク美学論稿」の内的転回をめぐる

報告者：秋元由裕（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

司会：初見基（日本大学）

「世界を家にして」——日本におけるコスモポリタニズム概念受容の文脈 【第5会場】

報告者：寺田晋（ハイデルベルク大学博士課程）

司会：岩崎稔（東京外国語大学）

-----11：00～11：45 自由論題報告-----

アダム・ファーガソンのアート概念 【第1会場】

報告者：福田名津子（一橋大学附属図書館）
司会：篠原久（関西学院大学）

1920年前後の日本における左派社会運動とメディア 【第2会場】

——非合法共産党と総合雑誌の関係を中心に

報告者：黒川伊織（神戸大学国際文化学研究科メディア文化研究センター協力研究員）
司会：太田仁樹（岡山大学）

情報社会の形成過程における公共性の観念 【第3会場】

——1868年イギリス国内電信国有化法にみる電信の公益性

報告者：松波京子（名古屋大学大学院経済学研究科 博士課程）
司会：小笠原博毅（神戸大学）

『非政治的人間の考察』から「ドイツ共和国について」にいたるトーマス・マンの思想的変遷

【第4会場】

報告者：速水淑子（慶應義塾大学法学研究科）
司会：三島憲一（東京経済大学）

共通感覚の覚醒——シモーヌ・ヴェイユ『前キリスト教的直観』をめぐって 【第5会場】

報告者：今村純子（慶應義塾大学非常勤講師）
司会：田崎英明（立教大学）

「人類」概念のもつ射程——コント思想の検討を通じて 【第6会場】

報告者：田口雄一郎（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）
司会：光永雅明（神戸市外国語大学）

-----13:00～15:00 セッション-----

G 幹事会企画セッション 戦後日本における社会思想史研究 【第1会場】

世話人：長尾伸一
司会：小田川大典（岡山大学）
報告：植村邦彦（関西大学）、深貝保則（横浜国立大学）
討論者：水田洋（日本学士院）

H 「人間」概念の変容と生命倫理 【第2会場】

世話人・司会：高草木光一（慶應義塾大学）
報告者：打出喜義（金沢大学）
討論者：最首悟（和光大学〔名誉教授〕）、山口研一郎（現代医療を考える会）

I 「パイレーツ・モダニティ」——海賊の思想史に向けて 【第3会場】

世話人・報告者：小笠原博毅（神戸大学大学院国際文化学研究科）
討論者：美馬達哉（京都大学大学院医学研究科高次脳機能総合研究センター）
石原俊（明治学院大学社会学部）

J パトリオティズム・ナショナリズム・コスモポリタニズムの根本問題 【第4会場】

世話人：鳴子博子（岐阜聖徳学園大学）

司会・討論者：王寺賢太（京都大学人文科学研究所）
報告者：川出良枝（東京大学、非会員）、鳴子博子

-----13：00～15：00 セッション-----

K 各国、各時代比較による近代社会思想史記述の試み

【第1会場】

世話人：長尾伸一（名古屋大学）
報告者：隠岐さや香（広島大学）
討論者：寺田元一（名古屋市立大学）

L 幹事会企画セッション マルクスを再考する：新MEGAの編集とマルクス研究の新分野の開拓

【第2会場】

世話人：的場昭弘（神奈川大学）
報告者：大谷禎之介（法政大学・名）、平子友長（一橋大学）
コメンテーター：佐々木隆治（一橋大学）
司会：竹永進（大東文化大学）

M18・9世紀ドイツの社会経済思想

【第3会場】

世話人：原田哲史（関西学院大学）、大塚雄太（名古屋大学）
司会：原田哲史
報告者：鈴木直志（横浜桐蔭大学）、弓削尚子（早稲田大学）

○学会事務局からの連絡とお願い

本年度大会プログラム・報告集、2011年度年報（第35号）をお送りいたします。また大会参加確認用ハガキ、大会懇親会および弁当注文用振込用紙もあわせて発送させていただきます。

◆会費納入のお願い

まだ納入されていない方は、同封の振込用紙を用いてお振込みくださいますようお願いいたします（お振込みと事務処理が前後する場合があります）。学会費は一般会員 9,000 円、非定職会員（大学院生・非常勤講師・退職者等）6,000 円です。納入超過の場合は来年度に繰越させていただきます。

◆印刷物の配布について

大会中、報告等で印刷物の配布をされる方は、各自製作の上、報告会場まで直接ご持参ください。受付では一切のコピーをいたしません。ご協力くださいますようお願いいたします。

◆大会報告集およびプログラムのホームページ掲載

本年度も大会報告集をPDF形式で学会ホームページに公開しております。その他、大会に関する最新情報も学会のホームページで公開しております。社会思想史学会のホームページ URL は <http://www.soc.nii.ac.jp/shst> です。

◆セッション報告書提出のお願い

セッションを良好に運営するためにさしあたり、今年度のセッション世話人に、大会後に報告書を提出してもらうようお願いすることが2010年度総会で承認されました。参加人数概数などをニューズレターに、またホームページ掲載用に4000字以内での報告書の作成をお願いいたします。後者の締め切りは1月末日となっております。御協力よろしくお願いたします。

◆『社会思想史研究』バックナンバーの割引販売

『社会思想史研究』第29号、第30号、および第31号を大会当日に割引販売いたします。一部につき950円です。また、2011年度末まで郵送でも販売いたします（メールで事務局宛にお申し込みください）。この場合は、一部につき950円＋郵送・梱包費200円です。お手許にない方はこの機会をぜひ御利用くださいますようお願いいたします。各号の詳しい内容については学会ホームページをご覧ください。

○大会開催校からの連絡とお願い

◆印刷物の配布について

大会中、報告等で印刷物の配布をされる方は、各自製作の上、報告会場まで直接御持参ください。期間中、受付では一切のコピーをいたしません。

- ◆10月29日(土)の懇親会は午後7時より、名古屋大学生協南部食堂にて開催されます。懇親会費は5,000円です。参加される方は、大会参加確認用ハガキの該当箇所をチェックの上、10月14日(金)までにご投函ください。また代金は以下の大会開催校郵便貯金口座に、同封した振込用紙で10月14日(金)までに御入金ください。

郵便振替口座

口座番号：00860-5-170050

名 義：社会思想史学会名古屋 大会実行委員会

他行からの振込みの場合は、

ゆうちょ銀行 089(ゼロハチキュウ)店 当座 口座番号 017005

0

◆昼食(弁当予約)について

ご希望の方には開催校側で10月29日(土)と30日(日)の昼食用として弁当を御用意いたします。価格は各1,000円です(税込み、お茶がついています)。ご希望の方は振込用紙の通信欄の該当箇所をチェックし、合計金額を上記の口座に、同封した振込用紙で10月14日(金)までに御入金ください。

したがって、「郵便振替(口座名義：社会思想史学会名古屋大会実行委員会)」への振り込み金額は

1,000円(1食のみ、懇親会不参加)

2,000円(2食のみ、懇親会不参加)

5,000円(弁当なし、懇親会参加)

6,000円(1食、懇親会参加)

7,000円(2食、懇親会参加)、のいずれかになります。

◆大会受付

大会受付は、10月29日(土)経済学部棟カンファレンスホール前になります。参加者はまず、こちらの窓口で受付をしてください。